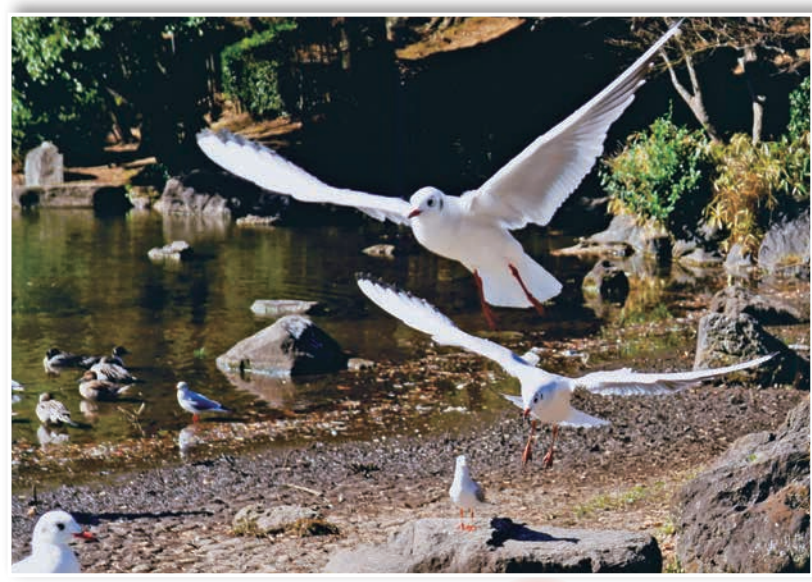
すみだ三十六景

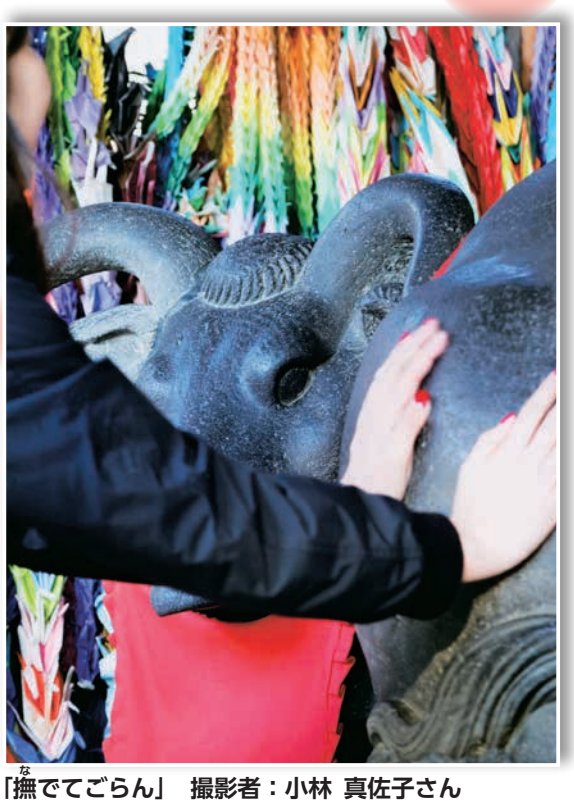
テーマ　「すみだの〝温もり〟」

様々な視点で「すみだの〝温もり〟」を捉えた写真がたくさん届きました。ここでは、応募があった写真の中から数点をご紹介します。

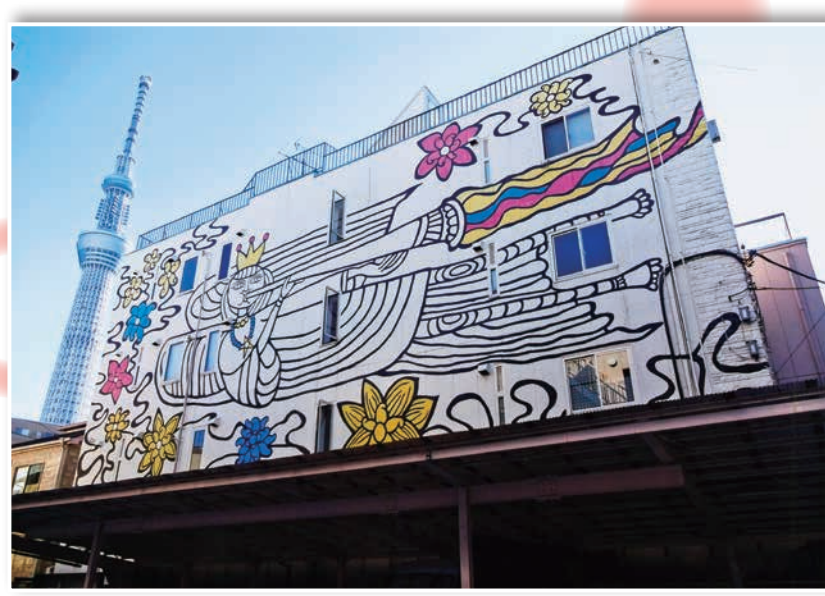
「ウメの花とスカイツリー」　撮影者：小坂善男さん



「仲良し飛行」　撮影者：長嶋寿子さん



「撫（な）でてごらん」　撮影者：小林 真佐子さん



「ビルの壁画とスカイツリー」　撮影者：佐藤八郎さん

引き続き、5月1日号に掲載する写真を募集します！

5月のテーマ　「すみだで見つけた春の知らせ」

＊応募方法等の詳細は今号2面をご覧ください。

夢　災害に強いまちを築くために

墨田区長　山本　亨

区では、「職員災害対応訓練」を毎年行い、緊急時の対応を確認しています

6年前の平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、墨田区も震度5強の激しい揺れに見舞われました。昨年も、熊本県や鳥取県などで規模の大きな地震が発生し、甚大な被害が生じています。

いつ起きてもおかしくないと言われる首都直下地震では、東日本大震災時を上回る揺れに襲われると想定されています。こうした大地震の際には、建物等の倒壊によって下敷きになるなどの直接的な被害だけでなく、倒れた建物等が道路を塞ぐことで避難が困難になったり、大規模火災が同時多発的に発生したりすることにも警戒が必要です。

木造建築物の密集地域がある本区では、関東大震災で壊滅的な被害を受けたことを教訓として、様々な助成制度を設けて建物の不燃化・耐震化を積極的に進めています。

耐震化に関する目標等を定めた「墨田区耐震改修促進計画」を昨年改定し、「木造住宅耐震改修促進助成」において、早急な耐震化が必要な地域であることを示す緊急対応地区の指定範囲を拡大しました。また、耐震化と併せて防火性能の向上を図る「防火・耐震化改修促進助成」を実施しているほか、専門家による無料相談も行っています。このほかにも、様々な制度がありますので、ご活用ください。

今後も区では、皆さんのかけがえのない生命と財産を守るために、燃えない・壊れないまちづくりを推進していきますので、ご理解・ご協力をお願いします。